

数学

<全体分析>

試験時間

70分

解答問題数

4題

解答形式

マーク式（数値をマーク）および短答式（式を記入）を併用。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化）

努力が確実に得点に結びつく問題である。

標準的な問題が出題の中心であり、試験時間に対して計算量も適切と言ってよい。

出題の特徴や昨年との変更点

数学Ⅱ、数学Bと数学Aの確率の出題が多い。

昨年まで経済に関する事象を素材とする問題が出題されていたが、本年はそのような出題は見られなかった。

その他トピックス

近年は標準的な問題の出題が続いている。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
I (i)	対数関数	数学Ⅱ	置き換え、文字消去により、2次関数の最大値を求める。	やや易
(ii)	図形と方程式	数学Ⅱ	円と直線が共有点を持つ条件。	易
(iii)	三角比(余弦定理) 空間図形	数学Ⅰ	正四面体の断面積を考察する。	標準
II	三角関数 微分・積分	数学Ⅱ	放物線の2接線のなす角、面積の計算。	標準
III	平面ベクトル 数列	数学B	内分点を繰り返すことによりベクトルの列を作る。等比数列とその和の計算。	標準
IV	確率	数学A	反復試行の確率。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

確率、数学Ⅱ、数学Bに関して様々な問題が偏りなく出題されている。これらの分野で苦手なところは残さないようにしたい。多くの問題集が取り上げる問題と同主旨、同程度の問題が出題の中心である。受験生のまじめな努力を評価しようという出題者の意図が感じられる。標準的な問題を自分の力で解答する中で実力を身につけていきたい。なお、過去には経済上、あるいは社会生活上の問題を素材とした問題が出題されていた時期もあった。過去問を通してこれらの問題にも取り組んでおくとよい。